

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

急性期病院に入院する心不全患者における転倒予測モデルの実装による転倒予防効果の検証

研究期間：承認日～2025年12月

対象材料：

- ☐病理材料（対象臓器名： ）
☐生検材料（対象臓器名 ）
☐血液材料
☐遊離細胞

■その他（診療録の情報）

上記材料の採取期間： 2023年2月 ～ 2025年1月

意義：

入院中の転倒は ADL の低下や入院期間の延長、転帰の悪化につながるため、早期の予測と予防が重要である。しかし、現時点では心不全患者に特化した転倒リスクの予測法およびそれに基づく具体的な介入方法は十分に確立されていない。

本研究では、心不全患者の転倒予測モデルを病棟に実装した取り組みを行った結果についてまとめ、転倒の発生の予防効果が得られたかを検証することを目的とした。

目的：

転倒予測モデルを実際の病棟に実装した取り組みを行った結果についてまとめ、ハイリスク患者に対して入院早期から個別的な転倒予防介入を行うことが転倒の発生を予防できる効果が得られるか検証すること。

方法：

入院後、電子カルテおよび診療・治療上の検査・測定、問診によって得られた研究対象者の下記各種データを収集し、データ登録を行う。

- ①基本情報：年齢、性別、Body Mass Index
- ②医学的情報：診断名、入院時生化学検査データ（TP、ALB、Hb、CRP、cre、eGFR、NT-proBNP）、心臓超音波検査データ、入院中の転倒の有無
- ③理学療法評価：
- ・退院時身体機能評価（Short Physical Performance Battery、握力、歩行速度、下腿周径、長谷川式簡易認知機能評価（HDS-R）

個人情報の取り扱い：

個人情報に関しては集計データを連結不可能匿名化し、個人が特定されない配慮を行う。関連学会に発表する場合があるが、その際も個人が特定される事はない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

$$\overline{750-8520}$$

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 リハビリテーション部 水野 博彰

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838